

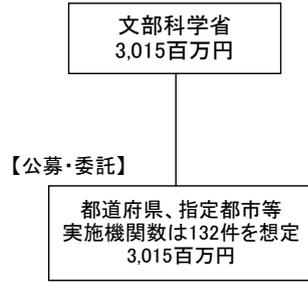
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	スクールカウンセラーの緊急派遣	<b>担当部局庁</b>	初等中等教育局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度	<b>担当課室</b>	児童生徒課	生徒指導室長 郷治 知道			
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	II-2 豊かな心の育成				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-	<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	平成23年3月に発生した東日本大震災により災害救助法が適用された地域等において、被災した児童生徒等の心のケア、教職員・保護者等への助言・援助等様々な課題に対応するため、スクールカウンセラー等を国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校等(以下、「国公立の幼小中高等学校等」という。)へ派遣し、もって被災した児童生徒等が安心して学校生活を送ることができるよう教育相談体制を整備するものである。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	次の事業を実施する。 ① スクールカウンセラーを国公立の幼小中高等学校等へ派遣する事業 ② スクールカウンセラーに準ずる者を国公立の幼小中高等学校等へ派遣する事業 ③ 適切な指導・助言ができるスーパーバイザーを配置し、スクールカウンセラー等の専門性を向上させる事業 (スクールカウンセラー等の専門性を向上させるための研修会や、事業を効果的かつ円滑に実施するための情報交換や関係機関との連絡調整等を行う連絡協議会の開催を含む。)						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算				0	5,514
		補正予算				3,015	
		繰越し等				0	
		計				3,015	5,514
		執行額					
	執行率(%)						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	被災地等、スクールカウンセラー等の派遣を必要としている自治体等への派遣するものであり、国が一定の目標を設定することはなじまない。	成果実績					
		達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	被災児童生徒等を受け入れ、心のケアの対応が必要とされる自治体等の数	活動実績(当初見込み)	都道府県・政令指定都市等				( 39件 )
<b>単位当たりコスト</b>	委託費1件あたりのコスト 77,307千円/39実施主体		算出根拠	3,015百万円(予算額)/39委託実施主体数(実績) <30都道府県+6指定都市+3国立大学法人=39>			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	緊急スクールカウンセラー等派遣事業委託費	0百万円	5,514百万円	スクールカウンセラーの派遣人数の増加のほか、進路指導・就学支援対応、特別支援対応等の派遣者を本事業に追加。【東日本大震災復興関連事業 要求額 5,514百万円】			
	計	0百万円	5,514百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>東日本大震災により被災した児童生徒等の心のケア、教職員・保護者等への助言、援助を行うため臨床心理士等をスクールカウンセラーとして派遣する本事業は、他の事業に比べても最優先で実施すべき事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

\* 当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



〔スクールカウンセラー等による被災児童生徒の心のケア等の実施〕

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.都道府県・指定都市等 全132機関			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	スクールカウンセラー等による被災児童生徒の心のケア等の実施	3,015			
計		3,015	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)